

第10回全国中学生ラグビーフットボール大会に協賛

ラグビーワールドカップが開催され、日本中が興奮のるつぼと化した2019年。全国餅工業協同組合は、9月14日(土)～16日(月・祝)に茨城県水戸市で開催された「太陽生命カップ2019 第10回全国中学生ラグビーフットボール大会」に協賛しました。



次世代のスター選手たちがここに集結！

格上の強豪国チームを相手にしても決して怯まずに真っ向勝負を挑み、最後まで勇猛果敢に得点を狙いに行く…。日本代表チームのその姿勢に日本中の人々が魂を揺さぶられ、ラグビー人気はかつてないほど高まっています。いつの日か桜のジャージに袖を通すことを夢見るジュニアラグーマンたちが一同に会する大会がこの「全国中学生ラグビーフットボール大会」であり、全餅工は今年で3年連続の協賛となります。



メイン会場のケーズデンキスタジアム水戸(水戸市立競技場)で行われた開会式では、今年のワールドカップJAPAN2019大会の優勝トロフィーが持ち込まれて特別公開され、出場選手たちの注目を集めました。

全餅工ではスタジアム前に特設テントを設け、パネル展示を行ってスポーツにはおもちが最適な食べ物であることを紹介。また、おみくじに参加した人を対象に、もれなく切り餅セット(手提げ袋入りの切り餅パック・餅カーポ漫画チラシ・リーフレット・ティッシュ)をプレゼントしました。



さらに、開会式に先立って行われた監督会議では、参加各チームの登録選手や指導者に向けて切り餅セットを配布。今後、選手たちの栄養補給やカーボローディングにお餅を活用して頂くためのきっかけ作りを行いました。



優勝チームは史上最多!?

大会は関東・関西・九州の3地域で合計約760チームによる予選大会や選考試合が行われ、「第1ブロック・中学校男子=8チーム」「第2ブロック・ラグビースクール=8チーム」「第3ブロック・都道府県代表女子=8チーム」が本戦に進出。それぞれのカテゴリーで日本一が競われます。



また、第10回にあたる今年は特別推薦枠として、3地域及び開催地元から計4チームが参加する「第10回記念ブロック」も設けられました。

第1ブロック(中学生男子)の決勝戦は、「東海大学付属仰星高等学校中等部」と「京都市立藤森中学校」の関西勢対決となり、爆発的な攻撃力で勝ち上がった東海大仰星が9トライ5ゴールを上げて55対7で圧勝。見事3連覇を果たしました。



この大会では、決勝戦で同点の場合は大会規定によって両チーム優勝とするように定められており、第2ブロック(ラグビースクール)では「ワセダクラブ・ラグビースクール」と「かしいヤングラガーズ」、第3ブロック(都道府県代表女子)では「東京都女子代表」と「神奈川県女子代表」、記念ブロック(特別推薦枠)では「茗溪学園中学校」と「南茨城ラグビースクール」がそれぞれ決勝戦で同点という珍事が発生。なんと優勝チームが合計7チームにもなりました。



全餅工では、スポーツに勤しむ若者たちをはじめ保護者や指導者の皆さまに向けて、お餅がスポーツ時の栄養補給やカーボローディングの実践に適した食品であることを伝え、餅の機能性や国内産水稲もち米100%使用の包装餅の魅力をもっと多くの方々に向けて一層アピールしていくため、今後もスポーツ振興とプロモーション活動を推進してまいります。

